

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590017001	科目番号 / Course code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (L1~L6_F(独2)) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L1?L6_F(独2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com(メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(ドイツ語共通シラバスより) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。 あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。</li> <li>・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況(15%) 予習・復習への取り組み(15%...状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います) 定期試験(40%) 統一試験(30%) *統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験です。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。指示された部分の音読をしておくこと。 (事後学習) 成績評価の欄でも述べましたが、状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清野智昭 『ドイツ語の時間 話すための文法 web練習問題付』朝日出版社</li> <li>・独和辞典</li> </ul>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。</li> <li>・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。</li> <li>・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。</li> </ul>		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 ( URL ) /Remarks ( URL )	
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか ( Y / N ) / Instructor(s) with practical experience ( Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 ( 日時 ) / Time ( date and time )	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション ドイツ語の文字と発音 ( 1 )
第2回	ドイツ語の文字と発音 ( 2 ) Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順 ( 1 )
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順 ( 2 )
第4回	Lektion 2 名詞の性と格変化 ( 1格と4格 )、重要な動詞 ( 1 )
第5回	Lektion 2 名詞の性と格変化 ( 1格と4格 )、重要な動詞 ( 2 )
第6回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格 ( 1 )
第7回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格 ( 2 )
第8回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格 ( 3 )
第9回	Lektion 4 前置詞、副文 ( 1 )
第10回	Lektion 4 前置詞、副文 ( 2 )
第11回	Lektion 4 前置詞、副文 ( 3 )
第12回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格 ( 1 )
第13回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格 ( 2 )
第14回	Lektion 6 冠詞類 ( 1 )
第15回	Lektion 6 冠詞類 ( 2 ) 文法補足ならびに統一試験の準備
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590017002	科目番号 / Course code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (G1~G3) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟3F 33番講義室 / SGHSS Lecture Room No.33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G1?G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayanagi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	多文化社会学部2号館(総合教育研究棟12F)		
担当教員TEL/Tel	819-2932		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。メールでアポを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標/Course goals	ドイツ語検定5級合格		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	予習・復習の実行状況(15%) 講義中の取り組み方(15%) 定期試験1(個別試験)(40%) 統一試験準拠試験(30%) 統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。多文化社会学部の学生は「ドイツ語I」に関しては統一試験に準拠した問題で試験を行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習、事後学習は必須。詳細は講義中に指示する。		
キーワード / Keywords	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書 / Materials	清野智昭『Lernplatz Deutsch(ドイツ語の広場)』同学社(2019) 独和辞典については講義中に指示(自分の判断で買わないこと)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	各回に指示する自宅学習をきちんとこなすことが何より重要です。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ドイツ語・オランダ語・英語の関係 アルファベット 発音の規則
第2回	ドイツ語のあいさつ 人称代名詞と動詞の人称変化
第3回	格変化(1格と4格)
第4回	haben・sein動詞、語順、決定疑問文
第5回	不規則動詞
第6回	複数形と3格
第7回	前置詞
第8回	副文
第9回	格変化(3格と4格)
第10回	再帰動詞
第11回	2格
第12回	定冠詞類
第13回	不定冠詞類
第14回	会話練習 テスト対策
第15回	まとめ テスト対策
第16回	試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590017003	科目番号 / Course code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (P1・P2_F(独1)) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	P1・P2_F(独1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-nakai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5 2 4 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6399		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	授業のねらい: ドイツ語の初級文法を現在時制(+未来形)の範囲内で学び、応用できるようにする。簡単な挨拶、数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な会話もできるようにする。		
授業到達目標/Course goals	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験30点、個別試験70点の筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8?1.2=成績)従って授業をおろそかにする人は、試験の合計が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してきてください。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	小島/仲井『やあ、みんな!』同学社 (なお初回時に辞書の説明をするので、それまで辞書は買わないでください。例年こちらが勧める以外の辞書を買って、後で困る人が出ています。参考書も特に買う必要はありません。)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	辞書の説明、発音
第2回	発音、基数と西暦の読み方、現在人称変化、疑問詞
第3回	定冠詞、不定冠詞、格の用法
第4回	不規則動詞、命令形
第5回	定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞
第6回	名詞の複数形
第7回	nichtとkein、目的語の語順
第8回	前置詞
第9回	形容詞と形容詞の名詞化
第10回	話法の助動詞、未来形
第11回	序数と日付の表現
第12回	分離動詞、非分離動詞
第13回	従属接続詞と並列接続詞
第14回	間接疑問文
第15回	ランデスクンデ
第16回	まとめと定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590017004	科目番号 / Course code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (T6~T10) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T6?T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ssakamoto tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の目的】 日本の大学における第二外国語(非英語)教育の基本理念に基づき、本授業の目的を以下のように設定する。 ?@グローバル化の著しい現代社会で生きるために必要なコミュニケーションスキルの育成 ?Aドイツ語を母語とする地域の文化や歴史、社会のあり様についての知識を深め、国際社会に対する視野を広げる</p> <p>【使用テキスト】 本授業の特色として、使用テキストにおける教授言語が英語であることが挙げられる。同テキストを使用する理由は以下の通りである。 ?@国際社会における英語の自明の重要性に鑑み、大学の授業における英語の活用頻度の増加に寄与するため。 ?A学習者のこれまでの英語学習の経験とそれによって習得した知識が、ドイツ語の習得に有利に働くことを期待するため。(ドイツ語と英語の歴史的・言語学的近似的ゆえに、ドイツ語学習において英語との比較は非常に有用である。)</p> <p>【授業の内容と進行】 ひとつの課を2回に分けて学習することとし、前半は講義と問題演習を通して文法構造の理解をはかり、後半はペアないしグループワーク形態での会話練習を中心とする。 2週に1度の頻度で、主に単語の習得を目的とした小テストを行う。小テストの正答率は本授業の成績の20%を占めるものとする。 また、授業内で行う会話練習は個別試験の内容と関係が深いため、真剣に取り組む必要がある。</p> <p>【合理的配慮】 合理的配慮が必要な学生に対しては、下記「アシスト広場」と連携し、リクワイヤメントを柔軟に変更する用意がある。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1. ドイツ語と英語を「(インド・ヨーロッパ語族)ゲルマン語派」という言語学的な高所から把握できるようになる。 2. 将来国際的な場で働く際、ドイツ語を母語とする関係者と友好的な関係を築ける程度に、正確なドイツ語運用ができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		

学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	宿題 (20%) 授業中の取り組み方 (10%) 定期試験 (個別) (40%) 統一試験 (30%) 統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験の事です。
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	小テストの準備、次週の授業内容の予習
キーワード/Keywords	英語で学ぶ、ドイツ語・英語の比較、初級文法、会話練習
教科書・教材・参考書/Materials	Tobias Bauer: Deutsch... ..auf Englisch! (英語で学ぶドイツ語/トビアス・パウアー) ISBN: 978-4-8102-0888-7  独和辞典は下記のを推薦します。 ・同社『アポロン独和辞典』 ・カシオ電子辞書・追加コンテンツXS-SA18, XS-SS02, XS-SA19MC, XS-SS03MC
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	特になし
学生へのメッセージ/Message for students	テキストで使用されている英語は、大学生が十分理解の可能な平易なものです。ただし、授業内容の正確な理解のために、予め一読しておくことをおすすめします。各々の英語力に応じて予習をしてください。なお、講師の使用言語は日本語です。質疑も日本語で構いません。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
第1回	本授業について (教材・進行について、目標・目的について、成績評価について)  Lesson 0 【Basics】 (1) The German Alphabet (2) Pronunciation (3) Numbers (4) Greetings  授業外学習: 次回の学習範囲 (教科書 p. 9-13) を読む
第2回	Lesson 1 【Introduction p. 9-14】 Dialogue: Mein Name ist Florian. (en: My name is Florian.) Grammar: (1) Personal Pronouns (2) Verbs: Present Tense (Regular Verbs) (3) Verb Placement (4) Verbs: Present Tense (Irregular Verb: sein) Exercise 1, 2, 3  授業外学習: 単語を覚える (教科書 p. 9, 14, 16 にリストアップされている語)
第3回	Lesson 1 【Introduction p. 9, 15-16】 Dialogue: Mein Name ist Florian. (en: My name is Florian.) 単語テスト (教科書 p. 9, 14, 16 にリストアップされている語) Speaking Exercise 1, 2  授業外学習: 次回の学習範囲 (教科書 p.17-20) を読む オプション課題: ドイツ映画を見てレポート (1000字) を作成する



第4回	<p>Lesson 2【Directions p. 17-20, 22】  Dialogue: Wo finde ich die Universität? (en: Where can I find the university?)  Grammar: (1) Gender of Nouns, Definite and Indefinite Articles (2) Agreement of Third-person Pronouns (Singular) (3) Declension of Nouns: The Four Cases (Nominative, Genitive, Dative and Accusative)  Exercise 1, 2, 3</p> <p>授業外学習: 単語を覚える (教科書 p. 17, 23, 24にリストアップされている語)</p>
第5回	<p>Lesson 2【Directions p. 17, 21-24】  Dialogue: Wo finde ich die Universität? (en: Where can I find the university?)  単語テスト (教科書 p. 17, 23, 24にリストアップされている語)  Grammar: (4) Verbs: Present Tense (Irregular Verb: haben and werden)  Exercise 4  Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習: 次回の学習範囲 (教科書 p. 25-28) を読む</p>
第6回	<p>Lesson 3【Shopping p. 25-29】  Dialogue: Eine Ansichtskarte kostet zwei Euro. (en: A postcard costs two euros.)  Grammar: (1) Noun Plurals (2) Declension of Plural Nouns (3) Declension of Weak Nouns (4) The Numbers 0-100  Exercise 1, 2, 3, 4</p> <p>授業外学習: 単語を覚える (教科書 p. 25, 29, 31にリストアップされている語)</p>
第7回	<p>Lesson 3【Shopping p. 25, 30-31】  Dialogue: Eine Ansichtskarte kostet zwei Euro. (en: A postcard costs two euros.)  単語テスト (教科書 p. 25, 29, 31にリストアップされている語)  Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習: 次回の学習範囲 (教科書 p. 32-35) を読む</p>
第8回	<p>Lesson 4【Hobbies and Preference p. 32-34, 36-37】  Dialogue: Was ist eigentlich dein Hobby? (en: By the way, what is your hobby?)  Grammar: (1) Verbs: Present Tense (Irregular Verbs) (2) Imperative  Exercise 1, 2  Speaking Exercise</p> <p>授業外学習: 単語を覚える (教科書 p. 32, 38にリストアップされている語)、動詞の変化を覚える (Lesson 1-8に出てきた動詞)</p>
第9回	<p>Lesson 4【Hobbies and Preference p. 32, 34-36】  Dialogue: Eine Ansichtskarte kostet zwei Euro. (en: A postcard costs two euros.)  単語テスト (教科書 p. 32, 38にリストアップされている語)  動詞の変化形テスト (Lesson 1-8に出てきた動詞)  Grammar: (3) Personal Pronouns (Dative, Accusative)  Exercise 3</p> <p>授業外学習: 3, 4格の人称代名詞を覚える (p. 35)、次回の学習範囲 (教科書 p. 39-42) を読む</p>
第10回	<p>Lesson 5【Transportation p. 39-43】  Dialogue: Wo bekomme ich eine Fahrkarte? (en: Where can I get a ticket?)  3, 4格の人称代名詞のテスト  Grammar: (1) Prepositions I (Prepositions Taking the Genitive, Dative or Accusative) (2) Prepositions II (Two-Way Prepositions) (3) Contraction of Prepositions and Definite Articles (4) Da-Compounds  Exercise 1, 2, 3</p> <p>授業外学習: 単語を覚える (教科書 p. 39, 45にリストアップされている語)、前置詞を覚える (p. 40-41)</p>
第11回	<p>Lesson 5【Transportation p. 39, 44-45】  Dialogue: Wo bekomme ich eine Fahrkarte? (en: Where can I get a ticket?)  単語テスト (教科書 p. 39, 45にリストアップされている語、前置詞)  Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習: 次回の学習範囲 (教科書 p. 46-49) を読む</p>
第12回	<p>Lesson 6【Invitations p. 46-50】  Dialogue: Dazu habe ich keine Lust. (en: I don't feel like doing that.)  Grammar: (1) Der-Words (2) Ein-Words (3) Negative Sentences Using nicht and kein  Exercise 1, 2, 3</p> <p>授業外学習: 単語を覚える (教科書 p. 46, 52にリストアップされている語)、定冠詞類・不定冠詞類を覚える (配布プリント)</p>

第13回	<p>Lesson 6【Invitations p. 46, 49-52】  Dialogue: Dazu habe ich keine Lust. (en: I don't feel like doing that.)  単語テスト(教科書 p. 46, 52にリストアップされている語、定冠詞類・不定冠詞類)  Grammar: (4) Numbers 100 and Above  Exercise 4  Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習: 統一試験出題範囲の名詞・動詞を覚える(統一試験用単語リストから)</p>
第14回	<p>単語テスト(統一試験用単語リストから名詞・動詞)  1学期のまとめ(復習と補遺)</p> <p>授業外学習: 統一試験出題範囲の形容詞・副詞・あいさつ表現を覚える(統一試験用単語リストから)</p>
第15回	<p>単語テスト(統一試験用単語リストから形容詞・副詞・あいさつ表現)  個別試験準備  統一試験準備</p>
第16回	<p>個別試験</p>

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590017005	科目番号 / Course code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (E1~E6) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E1?E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ssakamoto tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の目的】 日本の大学における第二外国語(非英語)教育の基本理念に基づき、本授業の目的を以下のように設定する。 ?@グローバル化の著しい現代社会で生きるために必要なコミュニケーションスキルの育成 ?Aドイツ語を母語とする地域の文化や歴史、社会のあり様についての知識を深め、国際社会に対する視野を広げる</p> <p>【使用テキスト】 本授業の特色として、使用テキストにおける教授言語が英語であることが挙げられる。同テキストを使用する理由は以下の通りである。 ?@国際社会における英語の自明の重要性に鑑み、大学の授業における英語の活用頻度の増加に寄与するため。 ?A学習者のこれまでの英語学習の経験とそれによって習得した知識が、ドイツ語の習得に有利に働くことを期待するため。(ドイツ語と英語の歴史的・言語学的近似的ゆえに、ドイツ語学習において英語との比較は非常に有用である。)</p> <p>【授業の内容と進行】 ひとつの課を2回に分けて学習することとし、前半は講義と問題演習を通して文法構造の理解をはかり、後半はペアないしグループワーク形態での会話練習を中心とする。 2週に1度の頻度で、主に単語の習得を目的とした小テストを行う。小テストの正答率は本授業の成績の20%を占めるものとする。 また、授業内で行う会話練習は個別試験の内容と関係が深いため、真剣に取り組む必要がある。</p> <p>【合理的配慮】 合理的配慮が必要な学生に対しては、下記「アシスト広場」と連携し、リクワイヤメントを柔軟に変更する用意がある。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1. ドイツ語と英語を「(インド・ヨーロッパ語族)ゲルマン語派」という言語学的な高所から把握できるようになる。 2. 将来国際的な場で働く際、ドイツ語を母語とする関係者と友好的な関係を築ける程度に、正確なドイツ語運用ができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		

学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	宿題 (20%) 授業中の取り組み方 (10%) 定期試験 (個別) (40%) 統一試験 (30%) 統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験の事です。
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	小テストの準備、次週の授業内容の予習
キーワード/Keywords	英語で学ぶ、ドイツ語・英語の比較、初級文法、会話練習
教科書・教材・参考書/Materials	Tobias Bauer: Deutsch... ..auf Englisch! (英語で学ぶドイツ語/トビアス・パウアー) ISBN: 978-4-8102-0888-7  独和辞典は下記のを推薦します。 ・同社『アポロン独和辞典』 ・カシオ電子辞書・追加コンテンツXS-SA18, XS-SS02, XS-SA19MC, XS-SS03MC
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	特になし
学生へのメッセージ/Message for students	テキストで使用されている英語は、大学生が十分理解の可能な平易なものです。ただし、授業内容の正確な理解のために、予め一読しておくことをおすすめします。各々の英語力に応じて予習をしてください。なお、講師の使用言語は日本語です。質疑も日本語で構いません。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	本授業について (教材・進行について、目標・目的について、成績評価について)  Lesson 0 【Basics】 (1) The German Alphabet (2) Pronunciation (3) Numbers (4) Greetings  授業外学習: 次回の学習範囲 (教科書 p. 9-13) を読む
第2回	Lesson 1 【Introduction p. 9-14】 Dialogue: Mein Name ist Florian. (en: My name is Florian.) Grammar: (1) Personal Pronouns (2) Verbs: Present Tense (Regular Verbs) (3) Verb Placement (4) Verbs: Present Tense (Irregular Verb: sein) Exercise 1, 2, 3  授業外学習: 単語を覚える (教科書 p. 9, 14, 16 にリストアップされている語)
第3回	Lesson 1 【Introduction p. 9, 15-16】 Dialogue: Mein Name ist Florian. (en: My name is Florian.) 単語テスト (教科書 p. 9, 14, 16 にリストアップされている語) Speaking Exercise 1, 2  授業外学習: 次回の学習範囲 (教科書 p.17-20) を読む オプション課題: ドイツ映画を見てレポート (1000字) を作成する

第4回	<p>Lesson 2【Directions p. 17-20, 22】  Dialogue: Wo finde ich die Universität? (en: Where can I find the university?)  Grammar: (1) Gender of Nouns, Definite and Indefinite Articles (2) Agreement of Third-person Pronouns (Singular) (3) Declension of Nouns: The Four Cases (Nominative, Genitive, Dative and Accusative)  Exercise 1, 2, 3</p> <p>授業外学習: 単語を覚える (教科書 p. 17, 23, 24にリストアップされている語)</p>
第5回	<p>Lesson 2【Directions p. 17, 21-24】  Dialogue: Wo finde ich die Universität? (en: Where can I find the university?)  単語テスト (教科書 p. 17, 23, 24にリストアップされている語)  Grammar: (4) Verbs: Present Tense (Irregular Verb: haben and werden)  Exercise 4  Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習: 次回の学習範囲 (教科書 p. 25-28) を読む</p>
第6回	<p>Lesson 3【Shopping p. 25-29】  Dialogue: Eine Ansichtskarte kostet zwei Euro. (en: A postcard costs two euros.)  Grammar: (1) Noun Plurals (2) Declension of Plural Nouns (3) Declension of Weak Nouns (4) The Numbers 0-100  Exercise 1, 2, 3, 4</p> <p>授業外学習: 単語を覚える (教科書 p. 25, 29, 31にリストアップされている語)</p>
第7回	<p>Lesson 3【Shopping p. 25, 30-31】  Dialogue: Eine Ansichtskarte kostet zwei Euro. (en: A postcard costs two euros.)  単語テスト (教科書 p. 25, 29, 31にリストアップされている語)  Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習: 次回の学習範囲 (教科書 p. 32-35) を読む</p>
第8回	<p>Lesson 4【Hobbies and Preference p. 32-34, 36-37】  Dialogue: Was ist eigentlich dein Hobby? (en: By the way, what is your hobby?)  Grammar: (1) Verbs: Present Tense (Irregular Verbs) (2) Imperative  Exercise 1, 2  Speaking Exercise</p> <p>授業外学習: 単語を覚える (教科書 p. 32, 38にリストアップされている語)、動詞の変化を覚える (Lesson 1-8に出てきた動詞)</p>
第9回	<p>Lesson 4【Hobbies and Preference p. 32, 34-36】  Dialogue: Eine Ansichtskarte kostet zwei Euro. (en: A postcard costs two euros.)  単語テスト (教科書 p. 32, 38にリストアップされている語)  動詞の変化形テスト (Lesson 1-8に出てきた動詞)  Grammar: (3) Personal Pronouns (Dative, Accusative)  Exercise 3</p> <p>授業外学習: 3, 4格の人称代名詞を覚える (p. 35)、次回の学習範囲 (教科書 p. 39-42) を読む</p>
第10回	<p>Lesson 5【Transportation p. 39-43】  Dialogue: Wo bekomme ich eine Fahrkarte? (en: Where can I get a ticket?)  3, 4格の人称代名詞のテスト  Grammar: (1) Prepositions I (Prepositions Taking the Genitive, Dative or Accusative) (2) Prepositions II (Two-Way Prepositions) (3) Contraction of Prepositions and Definite Articles (4) Da-Compounds  Exercise 1, 2, 3</p> <p>授業外学習: 単語を覚える (教科書 p. 39, 45にリストアップされている語)、前置詞を覚える (p. 40-41)</p>
第11回	<p>Lesson 5【Transportation p. 39, 44-45】  Dialogue: Wo bekomme ich eine Fahrkarte? (en: Where can I get a ticket?)  単語テスト (教科書 p. 39, 45にリストアップされている語、前置詞)  Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習: 次回の学習範囲 (教科書 p. 46-49) を読む</p>
第12回	<p>Lesson 6【Invitations p. 46-50】  Dialogue: Dazu habe ich keine Lust. (en: I don't feel like doing that.)  Grammar: (1) Der-Words (2) Ein-Words (3) Negative Sentences Using nicht and kein  Exercise 1, 2, 3</p> <p>授業外学習: 単語を覚える (教科書 p. 46, 52にリストアップされている語)、定冠詞類・不定冠詞類を覚える (配布プリント)</p>

第13回	<p>Lesson 6【Invitations p. 46, 49-52】          Dialogue: Dazu habe ich keine Lust. (en: I don't feel like doing that.)          単語テスト(教科書 p. 46, 52にリストアップされている語、定冠詞類・不定冠詞類)          Grammar: (4) Numbers 100 and Above          Exercise 4          Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習: 統一試験出題範囲の名詞・動詞を覚える(統一試験用単語リストから)</p>
第14回	<p>単語テスト(統一試験用単語リストから名詞・動詞)          1学期のまとめ(復習と補遺)</p> <p>授業外学習: 統一試験出題範囲の形容詞・副詞・あいさつ表現を覚える(統一試験用単語リストから)</p>
第15回	<p>単語テスト(統一試験用単語リストから形容詞・副詞・あいさつ表現)          個別試験準備          統一試験準備</p>
第16回	<p>個別試験</p>

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590017006	科目番号 / Course code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (D1・D2_K1~K3) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	D1・D2_K1?K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(ドイツ語共通シラバスより) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。 あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。</li> <li>・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況 (15%) 予習・復習への取り組み (15%...状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います) 定期試験 (40%) 統一試験 (30%) * 統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験です。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。指示された部分の音読をしておくこと。 (事後学習) 成績評価の欄でも述べましたが、状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清野智昭 『ドイツ語の時間 話すための文法 web練習問題付』朝日出版社</li> <li>・独和辞典</li> </ul>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。</li> <li>・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。</li> <li>・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。</li> </ul>		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 ( URL ) /Remarks ( URL )	
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか ( Y / N ) / Instructor(s) with practical experience ( Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 ( 日時 ) / Time ( date and time )	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション ドイツ語の文字と発音 ( 1 )
第2回	ドイツ語の文字と発音 ( 2 ) Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順 ( 1 )
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順 ( 2 )
第4回	Lektion 2 名詞の性と格変化 ( 1格と4格 )、重要な動詞 ( 1 )
第5回	Lektion 2 名詞の性と格変化 ( 1格と4格 )、重要な動詞 ( 2 )
第6回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格 ( 1 )
第7回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格 ( 2 )
第8回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格 ( 3 )
第9回	Lektion 4 前置詞、副文 ( 1 )
第10回	Lektion 4 前置詞、副文 ( 2 )
第11回	Lektion 4 前置詞、副文 ( 3 )
第12回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格 ( 1 )
第13回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格 ( 2 )
第14回	Lektion 6 冠詞類 ( 1 )
第15回	Lektion 6 冠詞類 ( 2 ) 文法補足ならびに統一試験の準備
第16回	定期試験



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590017007	科目番号 / Course code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (M4~M6) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4?M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com(メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(ドイツ語共通シラバスより) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。 あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。</li> <li>・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況(15%) 予習・復習への取り組み(15%...状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います) 定期試験(40%) 統一試験(30%) *統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験です。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。指示された部分の音読をしておくこと。 (事後学習) 成績評価の欄でも述べましたが、状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清野智昭 『ドイツ語の時間 話すための文法 web練習問題付』朝日出版社</li> <li>・独和辞典</li> </ul>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。</li> <li>・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。</li> <li>・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。</li> </ul>		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 ( URL ) /Remarks ( URL )	
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか ( Y / N ) / Instructor(s) with practical experience ( Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 ( 日時 ) / Time ( date and time )	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション ドイツ語の文字と発音 ( 1 )
第2回	ドイツ語の文字と発音 ( 2 ) Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順 ( 1 )
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順 ( 2 )
第4回	Lektion 2 名詞の性と格変化 ( 1格と4格 )、重要な動詞 ( 1 )
第5回	Lektion 2 名詞の性と格変化 ( 1格と4格 )、重要な動詞 ( 2 )
第6回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格 ( 1 )
第7回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格 ( 2 )
第8回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格 ( 3 )
第9回	Lektion 4 前置詞、副文 ( 1 )
第10回	Lektion 4 前置詞、副文 ( 2 )
第11回	Lektion 4 前置詞、副文 ( 3 )
第12回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格 ( 1 )
第13回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格 ( 2 )
第14回	Lektion 6 冠詞類 ( 1 )
第15回	Lektion 6 冠詞類 ( 2 ) 文法補足ならびに統一試験の準備
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590017008	科目番号 / Course code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (T1 ~ T5) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T1?T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a.guelbeyaz nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	095-8192905		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、ドイツ語を初めて学び始めた学生をCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)の初級段階となる(A1)レベルに導き、レベルの半ば(A1.1)に引き上げ、同時に現代ヨーロッパ社会に親しませる。		
授業到達目標/Course goals	挨拶と別れの成句を使うこと。基礎レベルで自己紹介すること。どの言語を話すかを言うこと。他人にどのようにしているのかを尋ね、自分がどのようにしているのかを言うこと。家族について話すこと。数えること。他人について話すこと。登録フォームに記入すること。自分の持っている又は持っていないことについて話すこと。自分または他人が必要とするものを伝えること。価格、単位、包装について話すこと。食事の注文すること。自分が住んでいる場所、勉強している学部やキャンパスに関して会話すること。ものを比較すること。時間と日付を言うこと。一日普段何をするかを語ること。自分の趣味や休みの時にすることを伝えること。出来ること・出来ないことを言うこと。自分が望むことを言うこと。過去のことを話すことをできるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験30%、平素の学習(授業への積極的参加、宿題、小テスト等)30%、定期試験(筆記試験)40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業までに一週間前に配布された資料を読み込んでくる。 「復習・練習・確認」のセッションでは小テストをする可能性があるため、必ず予習してくる。 「言葉は何よりもまず単語であること」を心にとどめ、積極的に使える語彙の数を日常生活においても増やす。 ドイツ語の音楽を聴き、動画等見て、ドイツ語を使える機会や場面を見出すように試みる。		
キーワード / Keywords	使用(言葉とは学ぶものではなく初接触から使うものである。) 語彙(言葉は文法ではなく何よりもまず単語である。)		
教科書・教材・参考書 / Materials	詳しい話を最初の授業でします。 基本的には、自作の資料を事前に配布、又はメールで送ります。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	「ドイツ語が難しい」という虚言に耳を傾けないでください。「難しい言葉」は基本的に存在しています。ドイツ語は極めて構造化されてある点で、逆に「簡単」だと思ってもおかしくありません。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業方法・学習法の説明；ドイツ語のアルファベットと発音；はじめる前に知っておく表現・成句；数
第2回	動詞の基礎構造と仕組み・その1；動詞の現在形；単文の構造；命令文；主格代名詞；疑問代名詞
第3回	復習・練習・確認
第4回	名詞の基礎構造と仕組み；名詞の性と数；定冠詞・不定冠詞・否定冠詞；肯定文・否定文・疑問文；決定疑問文
第5回	復習・練習・確認
第6回	名詞の構文的役割；名詞の格；代名詞の格；格標示の2種類；所有冠詞；前置詞 その1
第7回	復習・練習・確認
第8回	名詞の構文的役割；名詞の格；代名詞の格；格標示の2種類；前置詞 その2
第9回	復習・練習・確認
第10回	動詞の基礎構造と仕組み・その2；単純動詞・複合動詞；定形動詞・不定形動詞；分離動詞・非分離動詞
第11回	復習・練習・確認
第12回	形容詞の使用法；限定形容詞・叙述形容詞；形容詞の原級・比較級・最上級；形容詞変化
第13回	復習・練習・確認
第14回	法助動詞；単純過去入門；副文入門
第15回	復習・練習・確認
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590017009	科目番号 / Course code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (M1~M3) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1?M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(ドイツ語共通シラバスより) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。 あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。</li> <li>・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況 (15%) 予習・復習への取り組み (15%...状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います) 定期試験 (40%) 統一試験 (30%) * 統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験です。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。指示された部分の音読をしておくこと。 (事後学習) 成績評価の欄でも述べましたが、状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清野智昭 『ドイツ語の時間 話すための文法 web練習問題付』朝日出版社</li> <li>・独和辞典</li> </ul>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。</li> <li>・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。</li> <li>・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。</li> </ul>		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 ( URL ) /Remarks ( URL )	
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか ( Y / N ) / Instructor(s) with practical experience ( Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 ( 日時 ) / Time ( date and time )	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション ドイツ語の文字と発音 ( 1 )
第2回	ドイツ語の文字と発音 ( 2 ) Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順 ( 1 )
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順 ( 2 )
第4回	Lektion 2 名詞の性と格変化 ( 1格と4格 )、重要な動詞 ( 1 )
第5回	Lektion 2 名詞の性と格変化 ( 1格と4格 )、重要な動詞 ( 2 )
第6回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格 ( 1 )
第7回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格 ( 2 )
第8回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格 ( 3 )
第9回	Lektion 4 前置詞、副文 ( 1 )
第10回	Lektion 4 前置詞、副文 ( 2 )
第11回	Lektion 4 前置詞、副文 ( 3 )
第12回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格 ( 1 )
第13回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格 ( 2 )
第14回	Lektion 6 冠詞類 ( 1 )
第15回	Lektion 6 冠詞類 ( 2 ) 文法補足ならびに統一試験の準備
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590019001	科目番号 / Course code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (L1~L6_F(独2)) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L1?L6_F(独2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(ドイツ語共通シラバスより) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。 あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況(15%) 予習・復習への取り組み(15%...状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います) 定期試験(40%) 統一試験(30%) *統一試験とは「ドイツ語?U」の履修者全員が受験する同一問題の試験です。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。指示された部分の音読をしておくこと。 (事後学習) 成績評価の欄でも述べましたが、状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	・清野智昭 『ドイツ語の時間 話すための文法 web練習問題付』朝日出版社 ・独和辞典		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 ( URL ) /Remarks ( URL )	
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか ( Y / N ) / Instructor(s) with practical experience ( Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 ( 日時 ) / Time ( date and time )	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(1)
第2回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(2)
第3回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(3)
第4回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(1)
第5回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(2)
第6回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(3)
第7回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(1)
第8回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(2)
第9回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(3)
第10回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(1)
第11回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(2)
第12回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(3)
第13回	Lektion 11 接続法(1)
第14回	Lektion 11 接続法(2)
第15回	Lektion 11 接続法(3) 文法補足ならびに統一試験の準備
第16回	定期試験



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590019002	科目番号 / Course code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (G1 ~ G3) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟3F 33番講義室 / SGHSS Lecture Room No.33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G1?G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayanagi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	多文化社会学部2号館(総合教育研究棟12F)		
担当教員TEL/Tel	819-2932		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。事前にメールでアポを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標/Course goals	ドイツ語検定4級合格		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	予習・復習の実行状況(15%) 講義中の取り組み方(15%) 定期試験(個別)(40%) 統一試験(30%) 統一試験とは「ドイツ語II」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書 / Materials	清野智昭『Lernplatz Deutsch(ドイツ語の広場)』同学社(2019) 独和辞典については講義中に指示(自分の判断で買わないこと)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	<a href="http://h-semi.com/">http://h-semi.com/</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	各回に提示する課題にきちんと取り組むことが何より大切です。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	zu不定詞
第2回	分離動詞
第3回	話法の助動詞
第4回	過去形
第5回	現在完了形
第6回	受動態
第7回	形容詞の格変化
第8回	比較級と最上級
第9回	関係代名詞
第10回	命令形
第11回	接続法
第12回	補足練習1
第13回	補足練習2
第14回	補足練習3
第15回	まとめ 試験対策
第16回	試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590019003	科目番号 / Course code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (P1・P2_F(独1)) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	P1・P2_F(独1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-nakai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5 2 4 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6399		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	すべての時制でドイツ語の初級文法を学び、平易な文章であれば、辞書さえ使えば自分ひとりで読めるようにする。また道順の説明、序数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な表現もおぼえる。授業中の質問に対する答え、練習問題への解答は、そのつど授業への参加状況(0.8?1.2)に反映させます。		
授業到達目標/Course goals	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	共通試験30点、個別試験70点の筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8?1.2=成績)従って授業をおろそかにする人は、試験の合計点が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してきてください。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	小島 / 仲井 『やあ、みんな!』 同学社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	動詞の三基本形、過去
第2回	現在完了
第3回	過去完了、未来完了
第4回	再帰動詞
第5回	zu不定詞
第6回	esの用法
第7回	比較
第8回	受動態
第9回	関係代名詞
第10回	指示代名詞
第11回	不定関係代名詞、関係副詞
第12回	接続法(1)
第13回	接続法(2)
第14回	ランデスクンデ
第15回	総復習
第16回	総復習と定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590019004	科目番号 / Course code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (E1 ~ E6) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	E1?E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ssakamoto tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p><b>【授業の目的】</b> 日本の大学における第二外国語 (非英語) 教育の基本理念に基づき、本授業の目的を以下のように設定する。  ?グローバル化の著しい現代社会で生きるために必要なコミュニケーションスキルの育成  ?ドイツ語を母語とする地域の文化や歴史、社会のあり様についての知識を深め、国際社会に対する視野を広げる</p> <p><b>【使用テキスト】</b> 本授業の特色として、使用テキストにおける教授言語が英語であることが挙げられる。同テキストを使用する理由は以下の通りである。  ?国際社会における英語の自明の重要性に鑑み、大学の授業における英語の活用頻度の増加に寄与するため。  ?A学習者のこれまでの英語学習の経験とそれによって習得した知識が、ドイツ語の習得に有利に働くことを期待するため。(ドイツ語と英語の歴史的・言語学的近似的ゆえに、ドイツ語学習において英語との比較は非常に有用である。)</p> <p><b>【授業の内容と進行】</b> ひとつの課を2回に分けて学習することとし、前半は講義と問題演習を通して文法構造の理解をはかり、後半はペアないしグループワーク形態での会話練習を中心とする。 2週に1度の頻度で、主に単語の習得を目的とした小テストを行う。小テストの正答率は本授業の成績の20%を占めるものとする。 また、授業内で行う会話練習は個別試験の内容と関係が深いため、真剣に取り組む必要がある。</p> <p><b>【合理的配慮】</b> 合理的配慮が必要な学生に対しては、下記「アシスト広場」と連携し、リクワイヤメントを柔軟に変更する用意がある。</p>		
授業到達目標/Course goals	1. ドイツ語と英語を「(インド・ヨーロッパ語族)ゲルマン語派」という言語学的な高所から把握できるようになる。 2. 将来国際的な場で働く際、ドイツ語を母語とする関係者と友好的な関係を築ける程度に、正確なドイツ語運用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	宿題（20%） 授業中の取り組み方（10%） 定期試験（個別）（40%） 統一試験（30%） 統一試験とは「ドイツ語II」の履修者全員が受験する同一問題の試験の事です。 12月のドイツ語技能検定（独検）に合格した者には、その級に応じて加点します。（5級5点、4級10点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	小テストの準備、次週の授業内容の予習
キーワード/Keywords	英語で学ぶ、ドイツ語・英語の比較、初級文法、会話練習
教科書・教材・参考書/Materials	Tobias Bauer: Deutsch... auf Englisch!（英語で学ぶドイツ語 / トビアス・パウアー） ISBN: 978-4-8102-0888-7  独和辞典は下記のを推薦します。 ・同社『アポロン独和辞典』 ・カシオ電子辞書・追加コンテンツXS-SA18, XS-SS02, XS-SA19MC, XS-SS03MC
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	特になし
学生へのメッセージ/Message for students	テキストで使用されている英語は、大学生が十分理解の可能な平易なものです。ただし、授業内容の正確な理解のために、予め一読しておくことをすすめます。各々の英語力に応じて予習をしてください。なお、講師の使用言語は日本語です。質疑も日本語で構いません。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ドイツ語Iの復習、ドイツ語検定について 授業外学習：次回の学習範囲（教科書 p. 53-56）を読む
第2回	Lesson 7【Visits p. 53-57】 Dialogue: Darf ich dir etwas anbieten? (en: May I offer you something?) Grammar: (1) Modal Verbs (2) Future Tense Exercise 1, 2, 3  授業外学習：単語を覚える（教科書 p. 53, 58-60にリストアップされている語）、助動詞（p. 54, 56）を覚える
第3回	Lesson 7【Visits p. 53, 58-60】 Dialogue: Darf ich dir etwas anbieten? (en: May I offer you something?) 単語テスト（教科書 p. 53, 58-60にリストアップされている語） 助動詞のテスト（p. 54, 56） Speaking Exercise 1, 2  授業外学習：次回の学習範囲（教科書 p. 61-63）を読む

第4回	<p>Lesson 8【Health p. 61-63, 65-66】  Dialogue: Ich fühle mich schlecht. (en: I feel bad.)  Grammar: (1) Verbs with Separable Prefixes (2) Verbs with Inseparable Prefixes  Exercise 1, 2  Speaking Exercise 1</p> <p>授業外学習：単語を覚える（教科書 p. 61, 66-67にリストアップされている語）、分離動詞・非分離動詞を覚える（p. 75および配布プリント）、次回の学習範囲（教科書 p. 63-64）を読む</p>
第5回	<p>Lesson 8【Health p. 61, 63-65, 67】  Dialogue: Ich fühle mich schlecht. (en: I feel bad.)  単語テスト（教科書 p. 61, 66-67にリストアップされている語）  分離動詞・非分離動詞テスト  Grammar: (3) Verbs: Reflexive Verbs  Exercise 3  Speaking Exercise 2, 3</p> <p>授業外学習：単語を覚える（教科書 p. 68にリストアップされている語）、次回の学習範囲（教科書 p. 69-72）を読む</p>
第6回	<p>Lesson 9【Past Experience p. 69-73】  Dialogue: Ich war schon einmal in Frankreich. (en: I have been to France before.)  Grammar: (1) The Three Basic Verb Forms: Infinitive, Past and Past Participle (2) Simple Past (3) Subordinating Conjunctions and Subordinate Clauses  Exercise 1, 2, 3</p> <p>授業外学習：単語を覚える（教科書 p. 69, 72, 74にリストアップされている語）</p>
第7回	<p>Lesson 9【Past Experience p. 69, 74-75】  Dialogue: Ich war schon einmal in Frankreich. (en: I have been to France before.)  単語テスト（教科書 p. 69, 72, 74にリストアップされている語）  Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習：過去基本形・過去分詞を覚える（配布プリント）、次回の学習範囲（教科書 p. 76-78）を読む</p>
第8回	<p>Lesson 10【Recent Events p. 76-79】  Dialogue: Ich bin nach Japan geflogen. (en: I flew to Japan.)  Grammar: (1) Present Perfect (2) Uses of "es" as a Subject (3) Infinitives with "zu"  Exercise 1, 2, 3, 4</p> <p>授業外学習：単語を覚える（教科書 p. 76, 80-81にリストアップされている語）</p>
第9回	<p>Lesson 10【Recent Events p. 76, 80-81】  Dialogue: Ich bin nach Japan geflogen. (en: I flew to Japan.)  単語テスト（教科書 p. 76, 80-81にリストアップされている語）  Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習：次回の学習範囲（教科書 p. 82-85）を読む</p>
第10回	<p>Lesson 11【Appearances p. 82-86】  Dialogue: Tolle Party, nicht wahr? (en: Great party, isn't it?)  Grammar: (1) Usage and Declension of Adjectives (2) Comparison of Adjectives  Exercise 1, 2, 3</p> <p>授業外学習：単語を覚える（教科書 p. 82, 89にリストアップされている語）</p>
第11回	<p>Lesson 11【Appearances p. 82, 87-89】  Dialogue: Tolle Party, nicht wahr? (en: Great party, isn't it?)  単語テスト（教科書 p. 82, 89にリストアップされている語）  Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習：次回の学習範囲（教科書 p. 90-92）を読む</p>
第12回	<p>Lesson 12【Procedures p. 90-92, 94】  Dialogue: Zuerst werden die Kartoffeln gekocht. (en: First, boil potatoes.)  Grammar: (1) Passive Voice (2) Stative Passive (Zustandspassiv)  Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習：単語を覚える（教科書 p. 90, 95, 96にリストアップされている語）、次回の学習範囲（教科書 p. 92-93）を読む  オプション課題：ドイツ映画を見てレポート（1000字）を作成する</p>

第13回	<p>Lesson 12【Procedures p. 90, 92-96】          Dialogue: Zuerst werden die Kartoffeln gekocht. (en: First, boil potatoes.)          単語テスト(教科書 p. 90, 95, 96にリストアップされている語)          Grammar: (3) Relative Pronouns and Relative Clauses          Exercise 3, 4          Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習: 統一試験出題範囲の名詞・動詞を覚える(統一試験用単語リストから)</p>
第14回	<p>単語テスト(統一試験用単語リストから名詞・動詞)          1年のまとめ(復習と補遺)</p> <p>授業外学習: 統一試験出題範囲の形容詞・副詞・あいさつ表現を覚える(統一試験用単語リストから)</p>
第15回	<p>単語テスト(統一試験用単語リストから形容詞・副詞・あいさつ表現)          個別試験準備          統一試験準備</p>
第16回	<p>個別試験</p>



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590019005	科目番号 / Course code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (D1・D2_K1~K3) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	D1・D2_K1?K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com(メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(ドイツ語共通シラバスより) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。 あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況(15%) 予習・復習への取り組み(15%...状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います) 定期試験(40%) 統一試験(30%) *統一試験とは「ドイツ語?U」の履修者全員が受験する同一問題の試験です。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。指示された部分の音読をしておくこと。 (事後学習) 成績評価の欄でも述べましたが、状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	・清野智昭 『ドイツ語の時間 話すための文法 web練習問題付』朝日出版社 ・独和辞典		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 ( URL ) /Remarks ( URL )	
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか ( Y / N ) / Instructor(s) with practical experience ( Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 ( 日時 ) / Time ( date and time )	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(1)
第2回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(2)
第3回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(3)
第4回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(1)
第5回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(2)
第6回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(3)
第7回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(1)
第8回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(2)
第9回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(3)
第10回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(1)
第11回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(2)
第12回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(3)
第13回	Lektion 11 接続法(1)
第14回	Lektion 11 接続法(2)
第15回	Lektion 11 接続法(3) 文法補足ならびに統一試験の準備
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590019006	科目番号 / Course code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (M4~M6) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4?M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(ドイツ語共通シラバスより) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。 あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。</li> <li>・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況 (15%) 予習・復習への取り組み (15%...状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います) 定期試験 (40%) 統一試験 (30%) * 統一試験とは「ドイツ語?U」の履修者全員が受験する同一問題の試験です。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。指示された部分の音読をしておくこと。 (事後学習) 成績評価の欄でも述べましたが、状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清野智昭 『ドイツ語の時間 話すための文法 web練習問題付』朝日出版社</li> <li>・独和辞典</li> </ul>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。</li> <li>・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。</li> <li>・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。</li> </ul>		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 ( URL ) /Remarks ( URL )	
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか ( Y / N ) / Instructor(s) with practical experience ( Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 ( 日時 ) / Time ( date and time )	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(1)
第2回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(2)
第3回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(3)
第4回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(1)
第5回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(2)
第6回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(3)
第7回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(1)
第8回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(2)
第9回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(3)
第10回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(1)
第11回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(2)
第12回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(3)
第13回	Lektion 11 接続法(1)
第14回	Lektion 11 接続法(2)
第15回	Lektion 11 接続法(3) 文法補足ならびに統一試験の準備
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590019007	科目番号 / Course code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (T1 ~ T5) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T1?T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a.guelbeyaz nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	095-819-2905		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、ドイツ語Iを完了した学生のドイツ語への親しみを深め、CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)の初級上段階となる(A1.2)レベルのドイツ語を身につかせ、同時にドイツやヨーロッパ社会を発端に、グローバル社会の諸方面・諸問題への接触を可能にする。		
授業到達目標/Course goals	仕事・職業や勉強について話すこと。出来事、過程などの期間について話すこと。身の上話をすること、何をしなければならぬかを表現すること。指示を与える、許可を表現すること。医者と対話すること。説明を求める、体の部分名称、痛みを表現すること。所属を表すこと。電話で予約をすること。場所の説明、自分がどこにいるのか、そしてどこに行くのかを表現すること。道を尋ねること。時系列を表現すること。要求を丁寧に表現すること。物事の機能について話すこと。壊れた機器について苦情を述べること。衣料品の名称、好き嫌いを表現し、味や好みについて話すこと。日付と期間について正確な情報を与えること。ドイツ語でテキストを書くこと。招待状の読み書きをすること。ドイツでの休暇について話すこと。手紙を書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験30%、平素の学習(授業への積極的参加、宿題、小テスト等)30%、定期試験(筆記試験)40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	〔事前学習〕 授業までに一週間前に配布された資料を学んでくる。 「復習・練習・確認」のセッションでは小テストをする可能性があるため、必ず予習してくる。 「言葉は何よりもまず単語であること」を心にとどめ、積極的に使える語彙の数を日常生活においても増やす。 ドイツ語の音楽を聴き、動画等見て、ドイツ語を使える機会や場面を見出すように試みる。		
キーワード / Keywords	使用(言葉とは学ぶものではなく初接触から使うものである。) 語彙(言葉は文法ではなく何よりもまず単語である。)		
教科書・教材・参考書 / Materials	詳しい話を最初の授業でします。 基本的には、自作の資料を事前に配布、又はメールで送ります。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	「ドイツ語が難しい」という虚言に耳を傾けないでください。「難しい言葉」は基本的に存在しています。ドイツ語は極めて構造化されてある点で、逆に「簡単」だと思ってもおかしくありません。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ドイツ語の選択的復習； 名詞の格変化； 前置詞一覧； 形容詞変化； 副詞
第2回	復習・練習・確認
第3回	現在完了形； 他動詞・自動詞・再帰動詞； 強制・必要性を表す法助動詞
第4回	復習・練習・確認
第5回	複文の構造と種類； 等位接続詞・従位接続詞その1
第6回	復習・練習・確認
第7回	複文の構造と種類； 等位接続詞・従位接続詞その2
第8回	復習・練習・確認
第9回	前置詞の使用法その1； 場所や方向を含める動詞の使用法
第10回	復習・練習・確認
第11回	前置詞の使用法その2； 希望を表す法助動詞； 未来形
第12回	復習・練習・確認
第13回	動詞の目的語の種類； 許可を表す法助動詞； 法助動詞の過去形と現在完了形
第14回	復習・練習・確認
第15回	まとめ・選択的復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590019008	科目番号 / Course code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (M1~M3) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1?M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(ドイツ語共通シラバスより) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。 あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。</li> <li>・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況(15%) 予習・復習への取り組み(15%...状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います) 定期試験(40%) 統一試験(30%) *統一試験とは「ドイツ語?U」の履修者全員が受験する同一問題の試験です。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。指示された部分の音読をしておくこと。 (事後学習) 成績評価の欄でも述べましたが、状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清野智昭 『ドイツ語の時間 話すための文法 web練習問題付』朝日出版社</li> <li>・独和辞典</li> </ul>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。</li> <li>・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。</li> <li>・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。</li> </ul>		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 ( URL ) /Remarks ( URL )	
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか ( Y / N ) / Instructor(s) with practical experience ( Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 ( 日時 ) / Time ( date and time )	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(1)
第2回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(2)
第3回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(3)
第4回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(1)
第5回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(2)
第6回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(3)
第7回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(1)
第8回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(2)
第9回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(3)
第10回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(1)
第11回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(2)
第12回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(3)
第13回	Lektion 11 接続法(1)
第14回	Lektion 11 接続法(2)
第15回	Lektion 11 接続法(3) 文法補足ならびに統一試験の準備
第16回	定期試験



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590019009	科目番号 / Course code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (T6~T10) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T6?T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ssakamoto tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p><b>【授業の目的】</b> 日本の大学における第二外国語(非英語)教育の基本理念に基づき、本授業の目的を以下のように設定する。  ?@グローバル化の著しい現代社会で生きるために必要なコミュニケーションスキルの育成  ?Aドイツ語を母語とする地域の文化や歴史、社会のあり様についての知識を深め、国際社会に対する視野を広げる</p> <p><b>【使用テキスト】</b> 本授業の特色として、使用テキストにおける教授言語が英語であることが挙げられる。同テキストを使用する理由は以下の通りである。  ?@国際社会における英語の自明の重要性に鑑み、大学の授業における英語の活用頻度の増加に寄与するため。  ?A学習者のこれまでの英語学習の経験とそれによって習得した知識が、ドイツ語の習得に有利に働くことを期待するため。(ドイツ語と英語の歴史的・言語学的近似的ゆえに、ドイツ語学習において英語との比較は非常に有用である。)</p> <p><b>【授業の内容と進行】</b> ひとつの課を2回に分けて学習することとし、前半は講義と問題演習を通して文法構造の理解をはかり、後半はペアないしグループワーク形態での会話練習を中心とする。 2週に1度の頻度で、主に単語の習得を目的とした小テストを行う。小テストの正答率は本授業の成績の20%を占めるものとする。 また、授業内で行う会話練習は個別試験の内容と関係が深いため、真剣に取り組む必要がある。</p> <p><b>【合理的配慮】</b> 合理的配慮が必要な学生に対しては、下記「アシスト広場」と連携し、リクワイヤメントを柔軟に変更する用意がある。</p>		
授業到達目標/Course goals	1. ドイツ語と英語を「(インド・ヨーロッパ語族)ゲルマン語派」という言語学的な高所から把握できるようになる。 2. 将来国際的な場で働く際、ドイツ語を母語とする関係者と友好的な関係を築ける程度に、正確なドイツ語運用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確かめたり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>宿題（20％）          授業中の取り組み方（10％）          定期試験（個別）（40％）          統一試験（30％）          統一試験とは「ドイツ語II」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。          12月のドイツ語技能検定（独検）に合格した者には、その級に応じて加点します。（5級5点、4級10点）</p>
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	小テストの準備、次週の授業内容の予習
キーワード/Keywords	英語で学ぶ、ドイツ語・英語の比較、初級文法、会話練習
教科書・教材・参考書/Materials	<p>Tobias Bauer: Deutsch... auf Englisch!（英語で学ぶドイツ語 / トビアス・パウアー）          ISBN: 978-4-8102-0888-7</p> <p>独和辞典は下記のを推薦します。          ・同社『アポロン独和辞典』          ・カシオ電子辞書・追加コンテンツXS-SA18, XS-SS02, XS-SA19MC, XS-SS03MC</p>
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先          （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948          （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考（URL）/Remarks（URL）	特になし
学生へのメッセージ/Message for students	テキストで使用されている英語は、大学生が十分理解の可能な平易なものです。ただし、授業内容の正確な理解のために、予め一読しておくことをおすすめします。各々の英語力に応じて予習をしてください。なお、講師の使用言語は日本語です。質疑も日本語で構いません。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	<p>ドイツ語Iの復習、ドイツ語検定について</p> <p>授業外学習：次回の学習範囲（教科書 p. 53-56）を読む</p>
第2回	<p>Lesson 7【Visits p. 53-57】          Dialogue: Darf ich dir etwas anbieten? (en: May I offer you something?)          Grammar: (1) Modal Verbs (2) Future Tense          Exercise 1, 2, 3</p> <p>授業外学習：単語を覚える（教科書 p. 53, 58-60にリストアップされている語）、助動詞（p. 54, 56）を覚える</p>
第3回	<p>Lesson 7【Visits p. 53, 58-60】          Dialogue: Darf ich dir etwas anbieten? (en: May I offer you something?)          単語テスト（教科書 p. 53, 58-60にリストアップされている語）          助動詞のテスト（p. 54, 56）          Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習：次回の学習範囲（教科書 p. 61-63）を読む</p>

第4回	<p>Lesson 8【Health p. 61-63, 65-66】  Dialogue: Ich fühle mich schlecht. (en: I feel bad.)  Grammar: (1) Verbs with Separable Prefixes (2) Verbs with Inseparable Prefixes  Exercise 1, 2  Speaking Exercise 1</p> <p>授業外学習：単語を覚える（教科書 p. 61, 66-67にリストアップされている語）、分離動詞・非分離動詞を覚える（p. 75および配布プリント）、次回の学習範囲（教科書 p. 63-64）を読む</p>
第5回	<p>Lesson 8【Health p. 61, 63-65, 67】  Dialogue: Ich fühle mich schlecht. (en: I feel bad.)  単語テスト（教科書 p. 61, 66-67にリストアップされている語）  分離動詞・非分離動詞テスト  Grammar: (3) Verbs: Reflexive Verbs  Exercise 3  Speaking Exercise 2, 3</p> <p>授業外学習：単語を覚える（教科書 p. 68にリストアップされている語）、次回の学習範囲（教科書 p. 69-72）を読む</p>
第6回	<p>Lesson 9【Past Experience p. 69-73】  Dialogue: Ich war schon einmal in Frankreich. (en: I have been to France before.)  Grammar: (1) The Three Basic Verb Forms: Infinitive, Past and Past Participle (2) Simple Past (3) Subordinating Conjunctions and Subordinate Clauses  Exercise 1, 2, 3</p> <p>授業外学習：単語を覚える（教科書 p. 69, 72, 74にリストアップされている語）</p>
第7回	<p>Lesson 9【Past Experience p. 69, 74-75】  Dialogue: Ich war schon einmal in Frankreich. (en: I have been to France before.)  単語テスト（教科書 p. 69, 72, 74にリストアップされている語）  Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習：過去基本形・過去分詞を覚える（配布プリント）、次回の学習範囲（教科書 p. 76-78）を読む</p>
第8回	<p>Lesson 10【Recent Events p. 76-79】  Dialogue: Ich bin nach Japan geflogen. (en: I flew to Japan.)  Grammar: (1) Present Perfect (2) Uses of "es" as a Subject (3) Infinitives with "zu"  Exercise 1, 2, 3, 4</p> <p>授業外学習：単語を覚える（教科書 p. 76, 80-81にリストアップされている語）</p>
第9回	<p>Lesson 10【Recent Events p. 76, 80-81】  Dialogue: Ich bin nach Japan geflogen. (en: I flew to Japan.)  単語テスト（教科書 p. 76, 80-81にリストアップされている語）  Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習：次回の学習範囲（教科書 p. 82-85）を読む</p>
第10回	<p>Lesson 11【Appearances p. 82-86】  Dialogue: Tolle Party, nicht wahr? (en: Great party, isn't it?)  Grammar: (1) Usage and Declension of Adjectives (2) Comparison of Adjectives  Exercise 1, 2, 3</p> <p>授業外学習：単語を覚える（教科書 p. 82, 89にリストアップされている語）</p>
第11回	<p>Lesson 11【Appearances p. 82, 87-89】  Dialogue: Tolle Party, nicht wahr? (en: Great party, isn't it?)  単語テスト（教科書 p. 82, 89にリストアップされている語）  Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習：次回の学習範囲（教科書 p. 90-92）を読む</p>
第12回	<p>Lesson 12【Procedures p. 90-92, 94】  Dialogue: Zuerst werden die Kartoffeln gekocht. (en: First, boil potatoes.)  Grammar: (1) Passive Voice (2) Stative Passive (Zustandspassiv)  Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習：単語を覚える（教科書 p. 90, 95, 96にリストアップされている語）、次回の学習範囲（教科書 p. 92-93）を読む  オプション課題：ドイツ映画を見てレポート（1000字）を作成する</p>
第13回	<p>Lesson 12【Procedures p. 90, 92-96】  Dialogue: Zuerst werden die Kartoffeln gekocht. (en: First, boil potatoes.)  単語テスト（教科書 p. 90, 95, 96にリストアップされている語）  Grammar: (3) Relative Pronouns and Relative Clauses  Exercise 3, 4  Speaking Exercise 1, 2</p> <p>授業外学習：統一試験出題範囲の名詞・動詞を覚える（統一試験用単語リストから）</p>

第14回	単語テスト(統一試験用単語リストから名詞・動詞) 1年のまとめ(復習と補遺)  授業外学習:統一試験出題範囲の形容詞・副詞・あいさつ表現を覚える(統一試験用単語リストから)
第15回	単語テスト(統一試験用単語リストから形容詞・副詞・あいさつ表現) 個別試験準備 統一試験準備
第16回	個別試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590021001	科目番号 / Course code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (2M1 ~ 2M3) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M1?2M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語I・IIで学んだ知識を定着させ、より発展的な読解、聴解、作文、会話の力をつける。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わる、正しい発音を身につける。</li> <li>・初歩的な文法規則を使って日常生活に必要な表現や文が運用できる。</li> <li>・初級?中級レベルのテキストを分析・理解することができ、正確な日本語に訳すことができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況 (20%) 予習・復習への取り組み (20%...状況に応じて習熟度確認テストを行います) 定期試験 (60%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 読解を中心とした教科書を使用します。事前の予習は必須です。指示された範囲を見て、内容を把握し、疑問点を明らかにしておくこと。 また、付属のCDを利用して音読の練習をすること。 (事後学習) 宿題等の機会を利用してしっかり復習を行ってください。 宿題の実行状況は成績に反映されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	清野智昭(他)『ドイツ語の時間-読解編- <読めると楽しい!>』朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。</li> <li>・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。</li> <li>・読解を中心とした教科書を使いますので、独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。</li> </ul>		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい発音を習得するため、音読を頻繁に行います。</li> <li>・ペアワーク、グループワークも状況に応じて実施します。</li> <li>・授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。</li> </ul>
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション 発音の復習 Lektion 1 (1) 1. 動詞の現在人称変化 2. sein と haben の現在人称変化 3. 動詞の位置
第2回	Lektion 1 (2) 1. 動詞の現在人称変化 2. sein と haben の現在人称変化 3. 動詞の位置
第3回	Lektion 2 (1) 1. 名詞の性 2. 名詞の格変化（1格と4格） 3. 不規則動詞 werden 4. ja, nein, doch の使い方
第4回	Lektion 2 (2) 1. 名詞の性 2. 名詞の格変化（1格と4格） 3. 不規則動詞 werden 4. ja, nein, doch の使い方
第5回	Lektion 3 (1) 1. 不規則動詞の現在人称変化 2. 名詞の複数形 3. 名詞の2格と3格
第6回	Lektion 3 (2) 1. 不規則動詞の現在人称変化 2. 名詞の複数形 3. 名詞の2格と3格
第7回	Lektion 4 (1) 1. 前置詞と名詞の格 2. 副文
第8回	Lektion 4 (2) 1. 前置詞と名詞の格 2. 副文
第9回	Lektion 5 (1) 1. 人称代名詞の3格と4格 2. 再帰代名詞と再帰動詞 3. 非人称のes
第10回	Lektion 5 (2) 1. 人称代名詞の3格と4格 2. 再帰代名詞と再帰動詞 3. 非人称のes
第11回	Lektion 6 (1) 1. 定冠詞類 2. 不定冠詞類 3. 否定冠詞 kein と否定文
第12回	Lektion 6 (2) 1. 定冠詞類 2. 不定冠詞類 3. 否定冠詞 kein と否定文
第13回	Lektion 7 (1) 1. zu 不定詞句 2. 分離動詞 3. 非分離動詞
第14回	Lektion 7 (2) 1. zu 不定詞句 2. 分離動詞 3. 非分離動詞
第15回	Lektion 7 (3) 1. zu 不定詞句 2. 分離動詞 3. 非分離動詞 前期のまとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590021002	科目番号 / Course code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (2T6 ~ 2T10_2K1 ~ 2K3) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T6?2T10_2K1?2K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	murakami tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、あるいはEメール(上記メールアドレス)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初年次に学んだドイツ語の基礎知識を実践的語学力に高めるために、ドイツ語の歌や詩の読解に挑戦する授業です。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な文法や語彙を用いて、ドイツ語で自己表現できるようになる。</li> <li>・ドイツ語で書かれたテキスト(主に歌や詩)の内容を理解し、適切な日本語に訳せるようになる。</li> <li>・ドイツ語圏の文化をとおして、多様性を理解する態度を身につける。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	予習課題提出および授業への取り組み(30点) + 試験(中間試験 + 定期試験 = 70点) = 100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【事前学習】 ・教科書各課の Lesetext ならびに文法問題は辞書を用いて予習しておく(課題として提出を求める)。 【事後学習】 ・辞書なしで意味が分かるように、Lesetext を何度も読み返す。 ・練習問題を復習し、文法事項を整理しておく。 ・授業で扱ったテーマを自分で調べ、理解を深める。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	・奥田敏広 / 細見和之 『歌と詩で考えるドイツ語』、2019年、郁文堂 ・独和辞典		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題として提出を求めますので、教科書各課の Lesetext ならびに文法問題は辞書を用いて必ず予習してください（初回授業のみ教科書の予習は不要ですが、教科書は購入して持参してください）。</li> <li>・授業ではペア/グループで様々な演習を行うことがありますので、積極的な態度で授業に臨んでください。</li> <li>・疑問点は遠慮なくその場で質問してください。</li> <li>・語学とはとにかく声に出して学ぶことが肝心です。間違いを恐れず、積極的な発言を期待しています。</li> </ul>
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業のオリエンテーション、発音規則の復習 Lektion 1 名詞の性・複数形・冠詞、人称代名詞と動詞の現在人称変化 1
第2回	Lektion 1 乾杯の歌 名詞の性・複数形・冠詞、人称代名詞と動詞の現在人称変化 1
第3回	Lektion 2 亡命と移民 冠詞の格変化、代名詞の格変化、動詞の現在人称変化 2
第4回	Lektion 3 ドイツ映画『会議は踊る』 動詞の現在人称変化 3、前置詞
第5回	Lektion 4 『魔王』 命令形、冠詞類（定冠詞類、不定冠詞類）、形容詞の格変化、非人称 es
第6回	Lektion 4 『魔王』 命令形、冠詞類（定冠詞類、不定冠詞類）、形容詞の格変化、非人称 es
第7回	中間テスト Lektion 5 形容詞・副詞の比較、話法の助動詞の現在人称変化
第8回	Lektion 5 ブレヒトの反戦詩 1 形容詞・副詞の比較、話法の助動詞の現在人称変化
第9回	Lektion 5 カフカの断章 形容詞・副詞の比較、話法の助動詞の現在人称変化
第10回	Lektion 6 マレーネ・ディートリヒ『リリー・マルレーン』 動詞の3基本形、過去人称変化
第11回	Lektion 6 マレーネ・ディートリヒ『リリー・マルレーン』 動詞の3基本形、過去人称変化
第12回	Lektion 7 歌曲「人生を楽しみなさい」 再帰代名詞、再帰動詞（動詞の再帰的用法）、分離動詞
第13回	Lektion 7 フロイト「リビドー」 再帰代名詞、再帰動詞（動詞の再帰的用法）、分離動詞
第14回	Lektion 8 マレーネ・ディートリヒ『花はどこへ行った』 現在完了形、過去完了形
第15回	Lektion 8 マレーネ・ディートリヒ『花はどこへ行った』 現在完了形、過去完了形
第16回	定期試験



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590021003	科目番号 / Course code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (2D1・2D2_2T1~2T5) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2D1・2D2_2T1?2T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	murakami tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、あるいはEメール(上記メールアドレス)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初年次に学んだドイツ語の基礎知識を実践的語学力に高めるために、ドイツ語の歌や詩の読解に挑戦する授業です。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な文法や語彙を用いて、ドイツ語で自己表現できるようになる。</li> <li>・ドイツ語で書かれたテキスト(主に歌や詩)の内容を理解し、適切な日本語に訳せるようになる。</li> <li>・ドイツ語圏の文化をとおして、多様性を理解する態度を身につける。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	予習課題提出および授業への取り組み(30点) + 試験(中間試験 + 定期試験 = 70点) = 100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【事前学習】 ・教科書各課の Lesetext ならびに文法問題は辞書を用いて予習しておく(課題として提出を求める)。 【事後学習】 ・辞書なしで意味が分かるように、Lesetext を何度も読み返す。 ・練習問題を復習し、文法事項を整理しておく。 ・授業で扱ったテーマを自分で調べ、理解を深める。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	・奥田敏広 / 細見和之『歌と詩で考えるドイツ語』、2019年、郁文堂 ・独和辞典		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題として提出を求めますので、教科書各課の Lesetext ならびに文法問題は辞書を用いて必ず予習してください（初回授業のみ教科書の予習は不要ですが、教科書は購入して持参してください）。</li> <li>・授業ではペア/グループで様々な演習を行うことがありますので、積極的な態度で授業に臨んでください。</li> <li>・疑問点は遠慮なくその場で質問してください。</li> <li>・語学とはとにかく声に出して学ぶことが肝心です。間違いを恐れず、積極的な発言を期待しています。</li> </ul>
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業のオリエンテーション、発音規則の復習 Lektion 1 名詞の性・複数形・冠詞、人称代名詞と動詞の現在人称変化 1
第2回	Lektion 1 乾杯の歌 名詞の性・複数形・冠詞、人称代名詞と動詞の現在人称変化 1
第3回	Lektion 2 亡命と移民 冠詞の格変化、代名詞の格変化、動詞の現在人称変化 2
第4回	Lektion 3 ドイツ映画『会議は踊る』 動詞の現在人称変化 3、前置詞
第5回	Lektion 4 『魔王』 命令形、冠詞類（定冠詞類、不定冠詞類）、形容詞の格変化、非人称 es
第6回	Lektion 4 『魔王』 命令形、冠詞類（定冠詞類、不定冠詞類）、形容詞の格変化、非人称 es
第7回	中間テスト Lektion 5 形容詞・副詞の比較、話法の助動詞の現在人称変化
第8回	Lektion 5 ブレヒトの反戦詩 1 形容詞・副詞の比較、話法の助動詞の現在人称変化
第9回	Lektion 5 カフカの断章 形容詞・副詞の比較、話法の助動詞の現在人称変化
第10回	Lektion 6 マレーネ・ディートリヒ『リリー・マルレーン』 動詞の3基本形、過去人称変化
第11回	Lektion 6 マレーネ・ディートリヒ『リリー・マルレーン』 動詞の3基本形、過去人称変化
第12回	Lektion 7 歌曲「人生を楽しみなさい」 再帰代名詞、再帰動詞（動詞の再帰的用法）、分離動詞
第13回	Lektion 7 フロイト「リビドー」 再帰代名詞、再帰動詞（動詞の再帰的用法）、分離動詞
第14回	Lektion 8 マレーネ・ディートリヒ『花はどこへ行った』 現在完了形、過去完了形
第15回	Lektion 8 マレーネ・ディートリヒ『花はどこへ行った』 現在完了形、過去完了形
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590021004	科目番号 / Course code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (2E1 ~ 2E6_2F(独2)) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E1?2E6_2F(独2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語I・IIで学んだ知識を定着させ、より発展的な読解、聴解、作文、会話の力をつける。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わる、正しい発音を身につける。</li> <li>・初歩的な文法規則を使って日常生活に必要な表現や文が運用できる。</li> <li>・初級?中級レベルのテキストを分析・理解することができ、正確な日本語に訳すことができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況 (20%) 予習・復習への取り組み (20%...状況に応じて習熟度確認テストを行います) 定期試験 (60%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 読解を中心とした教科書を使用します。事前の予習は必須です。指示された範囲を見て、内容を把握し、疑問点を明らかにしておくこと。 また、付属のCDを利用して音読の練習をすること。 (事後学習) 宿題等の機会を利用してしっかり復習を行ってください。 宿題の実行状況は成績に反映されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	清野智昭(他) 『ドイツ語の時間 -読解編- <読めると楽しい!>』 朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。</li> <li>・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。</li> <li>・読解を中心とした教科書を使いますので、独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。</li> </ul>		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい発音を習得するため、音読を頻繁に行います。</li> <li>・ペアワーク、グループワークも状況に応じて実施します。</li> <li>・授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。</li> </ul>
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション 発音の復習 Lektion 1 (1) 1. 動詞の現在人称変化 2. sein と haben の現在人称変化 3. 動詞の位置
第2回	Lektion 1 (2) 1. 動詞の現在人称変化 2. sein と haben の現在人称変化 3. 動詞の位置
第3回	Lektion 2 (1) 1. 名詞の性 2. 名詞の格変化（1格と4格） 3. 不規則動詞 werden 4. ja, nein, doch の使い方
第4回	Lektion 2 (2) 1. 名詞の性 2. 名詞の格変化（1格と4格） 3. 不規則動詞 werden 4. ja, nein, doch の使い方
第5回	Lektion 3 (1) 1. 不規則動詞の現在人称変化 2. 名詞の複数形 3. 名詞の2格と3格
第6回	Lektion 3 (2) 1. 不規則動詞の現在人称変化 2. 名詞の複数形 3. 名詞の2格と3格
第7回	Lektion 4 (1) 1. 前置詞と名詞の格 2. 副文
第8回	Lektion 4 (2) 1. 前置詞と名詞の格 2. 副文
第9回	Lektion 5 (1) 1. 人称代名詞の3格と4格 2. 再帰代名詞と再帰動詞 3. 非人称のes
第10回	Lektion 5 (2) 1. 人称代名詞の3格と4格 2. 再帰代名詞と再帰動詞 3. 非人称のes
第11回	Lektion 6 (1) 1. 定冠詞類 2. 不定冠詞類 3. 否定冠詞 kein と否定文
第12回	Lektion 6 (2) 1. 定冠詞類 2. 不定冠詞類 3. 否定冠詞 kein と否定文
第13回	Lektion 7 (1) 1. zu 不定詞句 2. 分離動詞 3. 非分離動詞
第14回	Lektion 7 (2) 1. zu 不定詞句 2. 分離動詞 3. 非分離動詞
第15回	Lektion 7 (3) 1. zu 不定詞句 2. 分離動詞 3. 非分離動詞 前期のまとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590021005	科目番号 / Course code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (2G1 ~ 2G3) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2G1?2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語I・IIで学んだ知識を定着させ、より発展的な読解、聴解、作文、会話の力をつける。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わる、正しい発音を身につける。</li> <li>・初歩的な文法規則を使って日常生活に必要な表現や文が運用できる。</li> <li>・初級?中級レベルのテキストを分析・理解することができ、正確な日本語に訳すことができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況 (20%) 予習・復習への取り組み (20%...状況に応じて習熟度確認テストを行います) 定期試験 (60%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 読解を中心とした教科書を使用します。事前の予習は必須です。指示された範囲を見て、内容を把握し、疑問点を明らかにしておくこと。 また、付属のCDを利用して音読の練習をすること。 (事後学習) 宿題等の機会を利用してしっかり復習を行ってください。 宿題の実行状況は成績に反映されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	清野智昭(他)『ドイツ語の時間-読解編- <読めると楽しい!>』朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。</li> <li>・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。</li> <li>・読解を中心とした教科書を使いますので、独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。</li> </ul>		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい発音を習得するため、音読を頻繁に行います。</li> <li>・ペアワーク、グループワークも状況に応じて実施します。</li> <li>・授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。</li> </ul>
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション 発音の復習 Lektion 1 (1) 1. 動詞の現在人称変化 2. sein と haben の現在人称変化 3. 動詞の位置
第2回	Lektion 1 (2) 1. 動詞の現在人称変化 2. sein と haben の現在人称変化 3. 動詞の位置
第3回	Lektion 2 (1) 1. 名詞の性 2. 名詞の格変化 (1格と4格) 3. 不規則動詞 werden 4. ja, nein, doch の使い方
第4回	Lektion 2 (2) 1. 名詞の性 2. 名詞の格変化 (1格と4格) 3. 不規則動詞 werden 4. ja, nein, doch の使い方
第5回	Lektion 3 (1) 1. 不規則動詞の現在人称変化 2. 名詞の複数形 3. 名詞の2格と3格
第6回	Lektion 3 (2) 1. 不規則動詞の現在人称変化 2. 名詞の複数形 3. 名詞の2格と3格
第7回	Lektion 4 (1) 1. 前置詞と名詞の格 2. 副文
第8回	Lektion 4 (2) 1. 前置詞と名詞の格 2. 副文
第9回	Lektion 5 (1) 1. 人称代名詞の3格と4格 2. 再帰代名詞と再帰動詞 3. 非人称のes
第10回	Lektion 5 (2) 1. 人称代名詞の3格と4格 2. 再帰代名詞と再帰動詞 3. 非人称のes
第11回	Lektion 6 (1) 1. 定冠詞類 2. 不定冠詞類 3. 否定冠詞 kein と否定文
第12回	Lektion 6 (2) 1. 定冠詞類 2. 不定冠詞類 3. 否定冠詞 kein と否定文
第13回	Lektion 7 (1) 1. zu 不定詞句 2. 分離動詞 3. 非分離動詞
第14回	Lektion 7 (2) 1. zu 不定詞句 2. 分離動詞 3. 非分離動詞
第15回	Lektion 7 (3) 1. zu 不定詞句 2. 分離動詞 3. 非分離動詞 前期のまとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590021006	科目番号 / Course code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (2L1~2L3_2P1・2P2_2F(独1)) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L1?2L3_2P1・2P2_2F(独1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a.guelbeyaz nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	095-819-2905		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)の初級段階となる(A1)レベル(ドイツ語?T・ドイツ語?U)を修了した学生を、基礎レベルとなる次の(A2)レベルに導き、レベルの半ば(A2.1)に引き上げ、同時にドイツやヨーロッパ社会を発端に、グローバル社会の諸方面・諸問題への接触を可能にする。		
授業到達目標/Course goals	出来事の原因を問う、質問に答えること。過去のことを時系列に表現すること。休暇などに関する会話をすること。身近な人に関して話すこと。行方・経路・行先に関して話すこと。簡易メッセージを読むこと。出来事の頻度を表すこと。台所用具を命名して、食事に関して話すこと。料理店で注文し、食事の苦情を説明すること。提案や謝絶すること、因果関係について話すこと。何すべきか、何したらいいかを言うこと。再帰動詞を使って表現すること。人が何を考えているか、何を信じているかについて話すこと。教育機関・教育機会に関する会話をすること、贈り物に関して話し、誰に与えられるか等について話すことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	平素の学習(授業への積極的参加、宿題、小テスト等)50%、定期試験(筆記試験)50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	〔事前学習〕 授業までに一週間前に配布された資料を読み込んでくる。 「復習・練習・確認」のセッションでは小テストをする可能性があるため、必ず予習してくる。 「言葉は何よりもまず単語であること」を心にとどめ、積極的に使える語彙の数を日常生活においても増やす。 ドイツ語の音楽を聴き、動画等見て、ドイツ語を使える機会や場面を見出すように試みる。		
キーワード / Keywords	使用(言葉とは学ぶものではなく初接触から使うものである。) 語彙(言葉は文法ではなく何よりもまず単語である。)		
教科書・教材・参考書 / Materials	詳しい話を最初の授業でします。 基本的には、自作の資料を事前に配布、又はメールで送ります。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	「ドイツ語が難しい」という虚言に耳を傾けないでください。「難しい言葉」は基本的に存在しています。ドイツ語は極めて構造化されてある点で、逆に「簡単」だと思ってもおかしくありません。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業方法・学習法の説明；ドイツ語で自己紹介；習得したドイツ語の確認
第2回	動詞の話 その?T（定形動詞・不定形動詞；単純動詞・複合動詞；分離動詞・非分離動詞；自動詞・他動詞；動詞の時制；現在・過去・過去完了の復習）
第3回	復習・練習・確認
第4回	名詞の話（性、数、格；定名詞・不定名詞；所有格 / 属格）
第5回	復習・練習・確認
第6回	動詞の話 その?U（再帰動詞；規則動詞・不規則動詞の自制仕組みの比較；否定）
第7回	復習・練習・確認
第8回	複文の構造 その?T（主文・従属節・接続詞）；理由を表す副詞節、条件を表す副詞節
第9回	復習・練習・確認
第10回	動詞の目的語・目的格；複文の構造 その?U（主節・目的節）
第11回	復習・練習・確認
第12回	前置詞；前置詞付き目的語を統率する動詞
第13回	復習・練習・確認
第14回	動詞の話 その?V（動詞の法：直説法・仮定法）；仮定法の使用法（丁寧な表現など）
第15回	復習・練習・確認
第16回	定期試験



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590023001	科目番号 / Course code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (2M1 ~ 2M3) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M1?2M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	これまでに学んだ知識を定着させ、より発展的な読解、聴解、作文、会話の力をつける。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わる、正しい発音を身につける。</li> <li>・初歩的な文法規則を使って日常生活に必要な表現や文が運用できる。</li> <li>・初級?中級レベルのテキストを分析・理解することができ、正確な日本語に訳すことができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況 (20%) 予習・復習への取り組み (20%...状況に応じて習熟度確認テストを行います) 定期試験 (60%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 読解を中心とした教科書を使用します。事前の予習は必須です。指示された範囲を見て、内容を把握し、疑問点を明らかにしておくこと。 また、付属のCDを利用して音読の練習をすること。 (事後学習) 宿題等の機会を利用してしっかり復習を行ってください。 宿題の実行状況は成績に反映されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	清野智昭(他)『ドイツ語の時間-読解編- <読めると楽しい!>』朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。</li> <li>・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。</li> <li>・読解を中心とした教科書を使いますので、独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。</li> </ul>		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい発音を習得するため、音読を頻繁に行います。</li> <li>・ペアワーク、グループワークも状況に応じて実施します。</li> <li>・授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。</li> </ul>
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション 前期の振り返り Lektion 8 (1) 1. 話法の助動詞 2. 未来形
第2回	Lektion 8 (2) 1. 話法の助動詞 2. 未来形
第3回	Lektion 8 (3) 1. 話法の助動詞 2. 未来形
第4回	Lektion 9 (1) 1. 動詞の三基本形 2. 過去形 3. 現在完了形 4. 受動態
第5回	Lektion 9 (2) 1. 動詞の三基本形 2. 過去形 3. 現在完了形 4. 受動態
第6回	Lektion 9 (3) 1. 動詞の三基本形 2. 過去形 3. 現在完了形 4. 受動態
第7回	Lektion 10 (1) 1. 形容詞の用法 2. 形容詞の格変化 3. 比較級と最上級
第8回	Lektion 10 (2) 1. 形容詞の用法 2. 形容詞の格変化 3. 比較級と最上級
第9回	Lektion 10 (3) 1. 形容詞の用法 2. 形容詞の格変化 3. 比較級と最上級
第10回	Lektion 11 (1) 1. 関係代名詞 2. 命令形
第11回	Lektion 11 (2) 1. 関係代名詞 2. 命令形
第12回	Lektion 11 (3) 1. 関係代名詞 2. 命令形
第13回	Lektion 12 (1) 1. 接続法とは 2. 接続法の人称変化 3. 接続法の用法
第14回	Lektion 12 (2) 1. 接続法とは 2. 接続法の人称変化 3. 接続法の用法
第15回	Lektion 12 (3) 1. 接続法とは 2. 接続法の人称変化 3. 接続法の用法 後期のまとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590023002	科目番号 / Course code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (2T6 ~ 2T10_2K1 ~ 2K3) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T6?2T10_2K1?2K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	murakami tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、あるいはEメール(上記メールアドレス)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語?VIに引き続き、初年次に学んだドイツ語の基礎知識を実践的語学力に高めるために、ドイツ語の歌や詩の読解に挑戦する授業です。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な文法や語彙を用いて、ドイツ語で自己表現できるようになる。</li> <li>・ドイツ語で書かれたテキスト(主に歌や詩)の内容を理解し、適切な日本語に訳せるようになる。</li> <li>・ドイツ語圏の文化をとおして、多様性を理解する態度を身につける。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	予習課題提出および授業への取り組み(30点) + 試験(中間試験 + 定期試験 = 70点) = 100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【事前学習】 ・教科書各課の Lesetext ならびに文法問題は辞書を用いて予習しておく(課題として提出を求める)。 【事後学習】 ・辞書なしで意味が分かるように、Lesetext を何度も読み返す。 ・練習問題を復習し、文法事項を整理しておく。 ・授業で扱ったテーマを自分で調べ、理解を深める。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	・奥田敏広 / 細見和之 『歌と詩で考えるドイツ語』、2019年、郁文堂 ・独和辞典		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題として提出を求めますので、教科書各課の Lesetext ならびに文法問題は辞書を用いて必ず予習してください。</li> <li>・授業ではペア/グループで様々な演習を行うことがありますので、積極的な態度で授業に臨んでください。</li> <li>・疑問点は遠慮なくその場で質問してください。</li> <li>・語学はとにかく声に出して学ぶことが肝心です。間違いを恐れず、積極的な発言を期待しています。</li> </ul>
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	復習 Lektion 8 現在完了形、過去完了形
第2回	Lektion 8 ヘッセ『車輪の下』 現在完了形、過去完了形
第3回	Lektion 9 ハイネ『ローレライ』 接続詞、副文
第4回	Lektion 9 ニーチェ『ツアラトウストラ』 接続詞、副文
第5回	Lektion 10 プレヒトの反戦詩2 zu不定詞
第6回	Lektion 10 フロイト「エロスとタナトス」 zu不定詞
第7回	中間試験 Lektion 11 受動態
第8回	Lektion 11 リンゲルナッツ『郵便切手』 受動態
第9回	Lektion 11 アインシュタイン「平和主義」 受動態
第10回	Lektion 12 クリスマス市 定関係代名詞、不定関係代名詞と関係副詞、現在分詞・過去分詞
第11回	Lektion 12 『喜びの歌』 定関係代名詞、不定関係代名詞と関係副詞、現在分詞・過去分詞
第12回	Lektion 13 接続法第1式の用法、接続法第2式の用法
第13回	Lektion 13 ワーグナー『ニュルンベルクのマイスタージンガー』 接続法第1式の用法、接続法第2式の用法
第14回	Lektion 13 リルケ『マルテの手記』 接続法第1式の用法、接続法第2式の用法
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590023003	科目番号 / Course code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (2D1・2D2_2T1~2T5) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	村上 浩明 / Murakami Hiroaki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2D1・2D2_2T1?2T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	murakami tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、あるいはEメール(上記メールアドレス)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語?VIに引き続き、初年次に学んだドイツ語の基礎知識を実践的語学力に高めるために、ドイツ語の歌や詩の読解に挑戦する授業です。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な文法や語彙を用いて、ドイツ語で自己表現できるようになる。</li> <li>・ドイツ語で書かれたテキスト(主に歌や詩)の内容を理解し、適切な日本語に訳せるようになる。</li> <li>・ドイツ語圏の文化をとおして、多様性を理解する態度を身につける。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	予習課題提出および授業への取り組み(30点) + 試験(中間試験 + 定期試験 = 70点) = 100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【事前学習】 ・教科書各課の Lesetext ならびに文法問題は辞書を用いて予習しておく(課題として提出を求める)。 【事後学習】 ・辞書なしで意味が分かるように、Lesetext を何度も読み返す。 ・練習問題を復習し、文法事項を整理しておく。 ・授業で扱ったテーマを自分で調べ、理解を深める。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	・奥田敏広 / 細見和之『歌と詩で考えるドイツ語』、2019年、郁文堂 ・独和辞典		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題として提出を求めますので、教科書各課の Lesetext ならびに文法問題は辞書を用いて必ず予習してください。</li> <li>・授業ではペア/グループで様々な演習を行うことがありますので、積極的な態度で授業に臨んでください。</li> <li>・疑問点は遠慮なくその場で質問してください。</li> <li>・語学はとにかく声に出して学ぶことが肝心です。間違いを恐れず、積極的な発言を期待しています。</li> </ul>
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	復習 Lektion 8 現在完了形、過去完了形
第2回	Lektion 8 ヘッセ『車輪の下』 現在完了形、過去完了形
第3回	Lektion 9 ハイネ『ローレライ』 接続詞、副文
第4回	Lektion 9 ニーチェ『ツアラトウストラ』 接続詞、副文
第5回	Lektion 10 プレヒトの反戦詩2 zu不定詞
第6回	Lektion 10 フロイト「エロスとタナトス」 zu不定詞
第7回	中間試験 Lektion 11 受動態
第8回	Lektion 11 リンゲルナッツ『郵便切手』 受動態
第9回	Lektion 11 アインシュタイン「平和主義」 受動態
第10回	Lektion 12 クリスマス市 定関係代名詞、不定関係代名詞と関係副詞、現在分詞・過去分詞
第11回	Lektion 12 『喜びの歌』 定関係代名詞、不定関係代名詞と関係副詞、現在分詞・過去分詞
第12回	Lektion 13 接続法第1式の用法、接続法第2式の用法
第13回	Lektion 13 ワーグナー『ニュルンベルクのマイスタージンガー』 接続法第1式の用法、接続法第2式の用法
第14回	Lektion 13 リルケ『マルテの手記』 接続法第1式の用法、接続法第2式の用法
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590023004	科目番号 / Course code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (2E1 ~ 2E6_2F(独2)) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E1?2E6_2F(独2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	これまでに学んだ知識を定着させ、より発展的な読解、聴解、作文、会話の力をつける。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わる、正しい発音を身につける。</li> <li>・初歩的な文法規則を使って日常生活に必要な表現や文が運用できる。</li> <li>・初級?中級レベルのテキストを分析・理解することができ、正確な日本語に訳すことができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況 (20%) 予習・復習への取り組み (20%...状況に応じて習熟度確認テストを行います) 定期試験 (60%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 読解を中心とした教科書を使用します。事前の予習は必須です。指示された範囲を見て、内容を把握し、疑問点を明らかにしておくこと。 また、付属のCDを利用して音読の練習をすること。 (事後学習) 宿題等の機会を利用してしっかり復習を行ってください。 宿題の実行状況は成績に反映されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	清野智昭(他) 『ドイツ語の時間 -読解編- <読めると楽しい!>』 朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。</li> <li>・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。</li> <li>・読解を中心とした教科書を使いますので、独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。</li> </ul>		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい発音を習得するため、音読を頻繁に行います。</li> <li>・ペアワーク、グループワークも状況に応じて実施します。</li> <li>・授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。</li> </ul>
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション 前期の振り返り Lektion 8 (1) 1. 話法の助動詞 2. 未来形
第2回	Lektion 8 (2) 1. 話法の助動詞 2. 未来形
第3回	Lektion 8 (3) 1. 話法の助動詞 2. 未来形
第4回	Lektion 9 (1) 1. 動詞の三基本形 2. 過去形 3. 現在完了形 4. 受動態
第5回	Lektion 9 (2) 1. 動詞の三基本形 2. 過去形 3. 現在完了形 4. 受動態
第6回	Lektion 9 (3) 1. 動詞の三基本形 2. 過去形 3. 現在完了形 4. 受動態
第7回	Lektion 10 (1) 1. 形容詞の用法 2. 形容詞の格変化 3. 比較級と最上級
第8回	Lektion 10 (2) 1. 形容詞の用法 2. 形容詞の格変化 3. 比較級と最上級
第9回	Lektion 10 (3) 1. 形容詞の用法 2. 形容詞の格変化 3. 比較級と最上級
第10回	Lektion 11 (1) 1. 関係代名詞 2. 命令形
第11回	Lektion 11 (2) 1. 関係代名詞 2. 命令形
第12回	Lektion 11 (3) 1. 関係代名詞 2. 命令形
第13回	Lektion 12 (1) 1. 接続法とは 2. 接続法の人称変化 3. 接続法の用法
第14回	Lektion 12 (2) 1. 接続法とは 2. 接続法の人称変化 3. 接続法の用法
第15回	Lektion 12 (3) 1. 接続法とは 2. 接続法の人称変化 3. 接続法の用法 後期のまとめ
第16回	定期試験



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590023005	科目番号 / Course code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (2G1 ~ 2G3) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2G1?2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	これまでに学んだ知識を定着させ、より発展的な読解、聴解、作文、会話の力をつける。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わる、正しい発音を身につける。</li> <li>・初歩的な文法規則を使って日常生活に必要な表現や文が運用できる。</li> <li>・初級?中級レベルのテキストを分析・理解することができ、正確な日本語に訳すことができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況 (20%) 予習・復習への取り組み (20%...状況に応じて習熟度確認テストを行います) 定期試験 (60%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 読解を中心とした教科書を使用します。事前の予習は必須です。指示された範囲を見て、内容を把握し、疑問点を明らかにしておくこと。 また、付属のCDを利用して音読の練習をすること。 (事後学習) 宿題等の機会を利用してしっかり復習を行ってください。 宿題の実行状況は成績に反映されます。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	清野智昭(他)『ドイツ語の時間-読解編- <読めると楽しい!>』朝日出版社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。</li> <li>・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。</li> <li>・読解を中心とした教科書を使いますので、独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。</li> </ul>		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい発音を習得するため、音読を頻繁に行います。</li> <li>・ペアワーク、グループワークも状況に応じて実施します。</li> <li>・授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。</li> </ul>
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション 前期の振り返り Lektion 8 (1) 1. 話法の助動詞 2. 未来形
第2回	Lektion 8 (2) 1. 話法の助動詞 2. 未来形
第3回	Lektion 8 (3) 1. 話法の助動詞 2. 未来形
第4回	Lektion 9 (1) 1. 動詞の三基本形 2. 過去形 3. 現在完了形 4. 受動態
第5回	Lektion 9 (2) 1. 動詞の三基本形 2. 過去形 3. 現在完了形 4. 受動態
第6回	Lektion 9 (3) 1. 動詞の三基本形 2. 過去形 3. 現在完了形 4. 受動態
第7回	Lektion 10 (1) 1. 形容詞の用法 2. 形容詞の格変化 3. 比較級と最上級
第8回	Lektion 10 (2) 1. 形容詞の用法 2. 形容詞の格変化 3. 比較級と最上級
第9回	Lektion 10 (3) 1. 形容詞の用法 2. 形容詞の格変化 3. 比較級と最上級
第10回	Lektion 11 (1) 1. 関係代名詞 2. 命令形
第11回	Lektion 11 (2) 1. 関係代名詞 2. 命令形
第12回	Lektion 11 (3) 1. 関係代名詞 2. 命令形
第13回	Lektion 12 (1) 1. 接続法とは 2. 接続法の人称変化 3. 接続法の用法
第14回	Lektion 12 (2) 1. 接続法とは 2. 接続法の人称変化 3. 接続法の用法
第15回	Lektion 12 (3) 1. 接続法とは 2. 接続法の人称変化 3. 接続法の用法 後期のまとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590023006	科目番号 / Course code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Course title	ドイツ語 (2L1 ~ 2L3_2P1・2P2_2F(独1)) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L1?2L3_2P1・2P2_2F(独1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a.guelbeyaz nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	095-819-2905		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語?Vを受けた学生に、CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)の基礎段階となる(A2.2)レベルのドイツ語を身につかせ、同時にドイツやヨーロッパ社会を発端に、グローバル社会の諸方面・諸問題への接触を可能にする。		
授業到達目標/Course goals	複文の仕組みを積極的に理解し、譲歩的な状況の中で起きる行われること?。行動、過程、出来事を制約する条件等を表すこと。可能性、予定、イベント、活動等に関して話すこと。形容詞をより上手に使用して、比較級と最上級をふさわしく使うこと。パンフレットやちらしの内容がわかること。郵便局・郵便サービスを利用すること。好み・優先傾向、物事の種類に関して話すこと。動きの諸種類を表現すること。異なる気象条件、スケジュール、旅行計画について話すこと。物事の欠如を表現すること。はがき等を書く・読むこと。異なる場面でいろいろなことについて人に問い合わせること、銀行サービス等を利用すること。受動態を使って話すこと。除法動詞を適切に使うこと。助言を与えること。対立に対応・管理すること。行動・過程・出来事の結果について話すことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	平素の学習(授業への積極的参加、宿題、小テスト等) 50%、定期試験(筆記試験) 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	〔事前学習〕 授業に一週間前に配布された資料を読み込んでくる。 「復習・練習・定着」のセッションでは小テストをする可能性があるため、必ず予習してくる。 「言葉は何よりもまず単語であること」を心にとどめておいて、積極的に使える語彙の数を日常生活においても増やす。 ドイツ語の音楽を聴き、動画等見て、そしてドイツ語を使える機会や場面を見出すように試みる。		
キーワード / Keywords	使用(言葉とは学ぶものではなく初接触から使うものである。) 語彙(言葉は文法ではなく何よりもまず単語である。)		
教科書・教材・参考書 / Materials	詳しい話を最初の授業でします。 基本的には、自作の資料を事前に(遅くとも一週間前に)配布、又はメールで送ります。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	「ドイツ語が難しい」という虚言に耳を傾けないでください。「難しい言葉」とは基本的に存在していません。ドイツ語は極めて構造化されている言葉という点で、逆に「簡単」だと思ってもおかしくありません。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ドイツ?Vの選択的復習； 動詞の法； 複文
第2回	復習・練習・確認
第3回	与格を取る前置詞、場所や方向の表現； 形容詞変化； 譲歩節・譲歩を表す構造
第4回	復習・練習・確認
第5回	物事の比較、助言、意見を表す方法や構造； 対格を取る前置詞
第6回	復習・練習・確認
第7回	関係詞節； 話し言葉によく使う不変化詞； 本動詞の意味に応じて与格か対格を取る前置詞
第8回	復習・練習・確認
第9回	時の副詞節； 前置詞付き目的語を統率する動詞
第10回	復習・練習・確認
第11回	「zu」付き不定詞節； 結果節・結果を表す構造； 属格を取る前置詞
第12回	復習・練習・確認
第13回	受動態； 目的節・目的を表す構造
第14回	復習・練習・確認
第15回	まとめ・選択的復習
第16回	定期試験